

コベネフィットに係る国際的動向

－気候変動の国際交渉の最新動向－

加藤 真

海外環境協力センター(OECC)

コベネフィット・アプローチ共同研究ワークショップ
2009年7月3日 北京



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

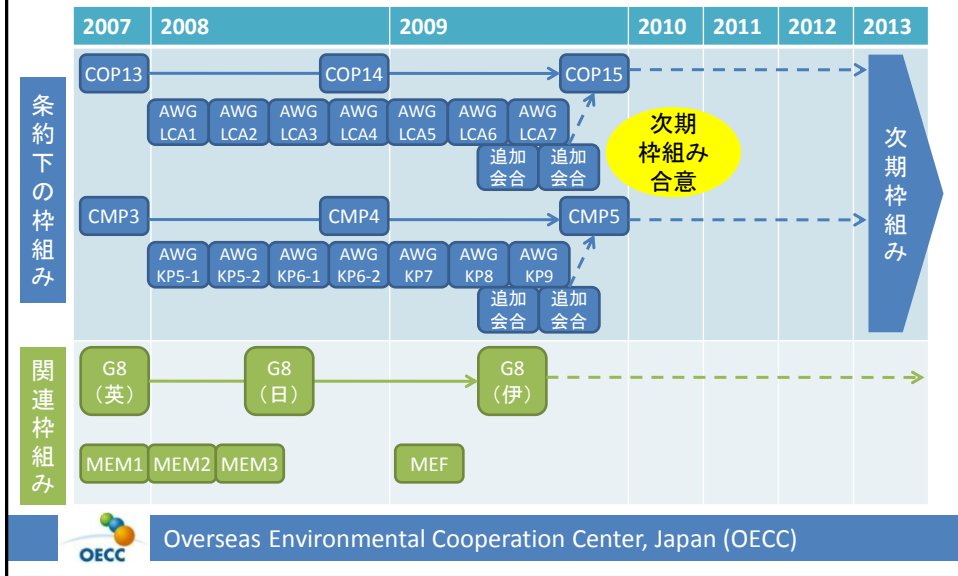
アウトライン

- 気候変動の国際交渉
- 途上国の緩和行動(NAMAs)
- 交渉文書
- 環境汚染対策と緩和対策



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

気候変動の国際交渉



気候変動の国際交渉

- 2つのトラック
 - AWG-LCA: 国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) の下での長期的協力の行動のための特別作業部会
 - AWG-KP: UNFCCC 京都議定書の下での附属書I国の更なる約束に関する特別作業部会
- 2009年12月 デンマーク・コペンハーゲン
 - UNFCCC 第15回締約国会合 (COP15) および京都議定書第5回締約国会合 (COP/MOP5)
 - 次期 (2013年以降) の枠組み合意



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

途上国の緩和行動(NAMAs)

- 2007年12月 COP13(インドネシア・バリ)
- バリ行動計画(Bali Action Plan)(Decision 1/CP.13)
 - 長期的協力行動にむけたビジョンの共有
 - 緩和(Mitigation)
 - 適応(Adaptation)
 - ファイナンス
 - 技術



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

途上国の緩和行動(NAMAs)

- バリ行動計画パラグラフ1(b)ii

持続可能な開発の観点から、計測・報告・検証可能な (measurable, reportable and verifiable; MRV) な形で、技術・資金・能力向上の支援を受けることで実現可能な途上国による国毎の適切な緩和行動(NAMAs)

Nationally appropriate mitigation actions by developing country Parties in the context of sustainable development, supported and enabled by technology, financing and capacity-building, in a measurable, reportable and verifiable manner;



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

交渉文書

- AWG-LCA交渉文書上の「途上国の国毎の適切な緩和行動(NAMAs)」
 - 持続可能な開発(SD)にかかる政策・措置
 - 低排出開発戦略および計画
 - プログラムCDM、技術開発プログラム／スタンダード
 - キャップ&トレードスキームおよび炭素税
 - セクター別目標、国毎のセクター別緩和行動／標準 等



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

交渉文書

- 「コベネフィット」= 途上国における緩和行動を強化及びスケールアップするための有効なアプローチ
- AWG-LCA交渉文書上の「コベネフィットの例」
 - 技術移転
 - キャパシティ・ビルディング
 - 雇用創出
 - ポジティブな環境影響



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

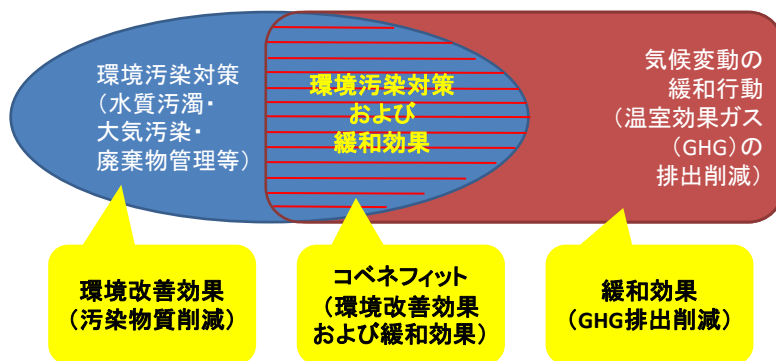
交渉文書

- AWG-KP交渉文書上の「コベネフィット」
 - 省エネ
 - 技術移転
 - 大気汚染物質削減、水質汚濁の改善、
廃棄物の削減、生物多様性の保全
 - 貧困削減
 - 経済成長 等
- コベネフィット型クリーン開発メカニズム(CDM)の優先的取扱い等について議論が進行中



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

環境汚染対策と緩和行動



- 途上国の緩和行動(NAMAs)の一形態
- 計測・報告・検証(MRV)の確保



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

環境汚染対策と緩和対策

- コベネフィット型計画・対策・プロジェクトの実現にむけて
 - 国および地方の環境汚染政策・計画の定量的評価（MRVの確保）
 - 個別の対策・プロジェクトの定量的評価（MRVの確保）
 - 技術開発および普及展開



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)

有難うございました

海外環境協力センター(OECC)

加藤 真(Makoto KATO)

電話: +81-3-5472-0144

Fax: +81-3-5472-0145

電子メール: kato@oecc.or.jp



Overseas Environmental Cooperation Center, Japan (OECC)